

ツミ（タカ科） 全長オス 27 センチ、メス 30 センチ

滅多に見ることがない鳥と出会った。

8月27日、最も小さいタカと言われるツミが大浦沼で見つかった。沼の橋の真上に架かる電線に止まっていたが、大きさはハトぐらいしかない小型のタカである。大きな眼、長い脚は黄色く爪は鋭く湾曲している。

時々、電線の真下を車が通り過ぎてゆくが、気にする様子もなく、じっくりと撮影することが出来ました。胸腹には褐色の縦斑、脇腹と下腹部には褐色の横斑が見えます。眉斑がわずかに白く残っていることと、バフ色の羽縁があることから幼鳥ではないかと思われます。



猛禽類の精悍な眼差し

ツミと出会ったのは今回が2回目となります。

20年近く前の話です。当時の建設省大曲河川維持出張所から連絡があった。早朝に出勤した職員が、玄関前に横たわっていた鳥を見つけたそうです。見たことがない鳥であったので何の種類か調べてほしいとの要請であった。

始めて見る鳥であり、あれこれガイドブックで比較したら、ツミの成鳥オスと同定した。珍しい野鳥であることから事務所では剥製にして展示していたが、今は杳としてわからず。



胸の模様からなど幼鳥と判定した



脚は長くて黄色い

ツミの幼鳥が見つかったことは、どこか近い場所で繁殖したことでしょう。
もう少し眺めていたところであったが、下の橋を釣り人が竿を持ち歩いてきたことから、飛び去ってしまった。



正面を見据えた



目の色は黄色から褐色に近い